

琴浦町立中学校制服検討委員会だより No.1

令和5年12月21日
文責 事務局 岸田和久

はじめに

7月14日より8月31日にかけて、町立小学校4～6年生及び町立中学校の児童生徒、保護者に「制服検討に係るアンケート」を行いました。

アンケートの結果、現在の制服は寒暖への対応、動きやすさ、性等のあらゆる多様性への対応、その他の観点から見直す必要があるという意見が多く、町立中学校2校の制服検討を始めました。

第1回検討委員会が開催されました

12月20日に第1回検討委員会が開催されました。

☆検討委員会メンバー（11名）

- ・各中学校長 ・各中学校生徒指導主事 ・各小・中学校PTA代表
- ※オブザーバーとして民間企業に参加を求めることもあります。
- ※事務局は琴浦町教育委員会事務局教育総務課が務めます。

☆検討会の目的

社会の要請（SDGs等）や価値観の変化、気候変動等に対応し、機能性を重視した、より経済的で、一人一人が「着やすい」琴浦町立中学校の制服を検討する。

☆会議概要

（1）検討スケジュールについて

- ・令和7年度新入生（現小学5年生）から着用（同年度における着用を希望する在校生も含む）できるよう検討を進める。

（2）制服メーカーの決定について ※第2回検討委員会で実施（令和6年2月1日）

- ・各メーカーの提出した企画提案書、プレゼンテーションに基づき、委員会で協議して決定する。

（3）制服の仕様、求める機能性等について

- ・制服デザインは「スーツ型またはブレザー型で男女兼用シルエット」を基本とする。
- ・多様性へ配慮した制服の改定であり、スラックスとスカートが選択できること。
- ・ネクタイ・リボンと組み合わせとする。
- ・販売予定価格が税込42,000円以内であること。
※この価格にはシャツやネクタイ等は含みません。42,000円は現在導入している詰襟、セーラー服の平均価格です。
- ・快適な学校生活を送ることができる着心地（伸縮性等）
- ・清潔感に優れている（消臭等）
- ・家庭での手入れが容易である（家庭洗濯・ノーアイロン等）
- ・3年間の使用に耐えうる耐久性を有する
- ・多様性に配慮した仕様である
- ・経済性に優れている（おさがり対応できる等）
- ・各中学校区の販売店等で購入できる

今後も引き続き制服の検討状況をお知らせしていきます。詳細なデザイン等の検討の際には、児童生徒、保護者のみなさんのご意見を伺う予定にしています。